



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月28日

上場会社名 日本精化株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4362 URL <https://www.nipponseika.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 矢野 進
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 大倉 善弘 TEL 06-6231-4781
 定時株主総会開催予定日 2020年6月23日 配当支払開始予定日 2020年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	29,047	3.4	3,641	13.8	3,920	11.9	2,621	13.8
2019年3月期	28,084	1.8	3,199	16.3	3,503	20.7	2,303	14.3

(注) 包括利益 2020年3月期 1,507百万円 (△28.0%) 2019年3月期 2,094百万円 (△50.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	110.37	—	7.0	8.2	12.5
2019年3月期	96.98	—	6.3	7.4	11.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	47,561	38,399	79.4	1,589.64
2019年3月期	48,214	37,795	76.9	1,562.03

(参考) 自己資本 2020年3月期 37,749百万円 2019年3月期 37,093百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,061	△1,817	△894	11,720
2019年3月期	3,434	△598	△741	11,411

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	12.00	—	18.00	30.00	712	30.9	2.0
2020年3月期	—	15.50	—	17.50	33.00	783	29.9	2.1
2021年3月期(予想)	—	16.50	—	16.50	33.00		39.2	

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,500	△5.4	1,350	△18.4	1,500	△17.1	1,000	△15.0	42.11
通期	27,500	△5.3	2,800	△23.1	3,100	△20.9	2,000	△23.7	84.22

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期	25,372,447株	2019年3月期	25,372,447株
----------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期	1,625,429株	2019年3月期	1,625,147株
----------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数

2020年3月期	23,747,195株	2019年3月期	23,747,476株
----------	-------------	----------	-------------

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	14,035	6.1	2,178	8.6	2,908	11.3	2,120	10.3
2019年3月期	13,233	4.3	2,007	28.6	2,612	26.2	1,922	21.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	89.28	—
2019年3月期	80.96	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	41,239	31,228	75.7	1,315.03
2019年3月期	41,819	30,866	73.8	1,299.78

(参考) 自己資本 2020年3月期 31,228百万円 2019年3月期 30,866百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、堅調な設備投資の下支えなどにより、通商問題を巡る動向など世界経済の不確実性や消費税増税後の消費落ち込みがあったものの、緩やかな景気回復が続きました。しかしながら、年明け以降は、新型コロナウイルス感染症拡大により国内外の景気は急激に悪化しており、更なる景気の下振れが懸念される非常に厳しい状況で推移しております。

このような事業環境のなかで、当社グループは経営基盤の更なる強化に取り組むとともに、収益拡大に貢献する製品開発とその拡販に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は290億4千7百万円（前期比3.4%増）と増収となりました。また、利益面は営業利益36億4千1百万円（同13.8%増）、経常利益39億2千万円（同11.9%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益については26億2千1百万円（同13.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 工業用製品事業

当セグメントにおきましては、精密化学品分野において「医薬用リン脂質」や機能性樹脂原料などの販売が増加いたしました。一方で、海外向け「ラノリン」の販売減少や、第4四半期に入り、新型コロナウイルス感染症拡大により、化粧用機能原料の一部で販売が減少したほか、中国子会社工場の操業を一時停止しましたが、通期業績への影響は軽微でした。この結果、売上高は205億7千3百万円（前期比1.2%増）、セグメント利益（営業利益）は27億4千7百万円（同14.4%増）となりました。

② 家庭用製品事業

当セグメントにおきましては、新規顧客の獲得や新製品の拡販および新型コロナウイルス感染症対策製品の需要増加により環境衛生分野の販売が増加いたしました。この結果、売上高は73億3千7百万円（前期比9.7%増）、セグメント利益（営業利益）は6億1千9百万円（同14.8%増）となりました。

③ その他

その他の事業の売上高は11億3千6百万円（前期比5.7%増）、セグメント利益（営業利益）は2億7千4百万円（同6.0%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の総資産は前連結会計年度（以下「前期」という。）に比べ6億5千3百万円減少し、475億6千1百万円となりました。これは主として、仕掛品の増加などにより流動資産が3億2百万円増加した一方、投資有価証券の減少などにより固定資産が9億5千5百万円減少したことによるものであります。

当連結会計年度の負債は前期に比べ12億5千6百万円減少し、91億6千2百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少などにより流動負債が6億2千9百万円減少し、繰延税金負債の減少などにより固定負債が6億2千7百万円減少したことによるものであります。

当連結会計年度の純資産は前期に比べ6億3百万円増加し、383億9千9百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する当期純利益の計上26億2千1百万円及び配当金の支払7億9千5百万円などにより株主資本が18億1千4百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金の減少などによりその他の包括利益累計額が11億5千9百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期に比べ3億8百万円増加し、117億2千万円となりました。なお、当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況と主な内訳は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ3億7千3百万円収入が減少し、30億6千1百万円の収入となりました。その主な内訳は、税金等調整前当期純利益38億1千万円及び減価償却費12億5百万円の計上による資金の増加、法人税等の支払による資金の減少15億8千1百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ12億1千8百万円支出が増加し、18億1千7百万円の支出となりました。その主な内訳は、有形固定資産の取得による資金の減少18億5千1百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ1億5千2百万円支出が増加し、8億9千4百万円の支出となりました。その主な内訳は、配当金の支払いによる資金の減少7億9千5百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症による当社業績への影響は、2021年3月期の年度末まで継続すると想定しております。感染症拡大の最悪期は日本を含む世界各国で4～6月まで続き、7月以降、各国の経済活動は徐々に正常化に向けて再開するとみておりますが、世界的な景気悪化による影響は年度末まで続く想定しております。

当社事業においては、工業用製品事業では「医薬用リン脂質」は順調に推移いたしますが、化粧品への消費者マインドの低下や自動車業界などの工業用製品の市況悪化の影響を受けて、化粧用機能原料や汎用工業用原料などの販売が大幅に減少すると想定しております。家庭用製品事業では、医療施設や介護施設向けの感染症対策製品の販売は増加いたしますが、国内景気の急激な悪化もあり給食センター、ホテル、レストランなどの食品事業所向けや工場、オフィスビルなど一般事業所向けの販売は減少すると想定しております。

以上の想定のもと、2021年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高275億円（当期比5.3%減）、営業利益28億円（同23.1%減）、経常利益31億円（同20.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益20億円（同23.7%減）を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主価値の増大を図ることを基本方針とし、株主の皆さまへの利益還元を重要な課題のひとつと考え、配当水準の向上と安定化を目指します。

内部留保資金については、大規模災害や感染症の蔓延など不測の事態への備えとして確保しつつ、新製品の開発、コスト競争力の強化、さらなる成長に向けた基盤構築を推進するため有効に投資していく方針であります。これらの投資が将来、収益の向上をもたらし、株主の皆さまへの利益還元につながるものと確信しております。

上記の方針に基づき、当期の期末配当金は、1株当たり17.5円とさせていただきます。この結果、年間配当金は33円、連結配当性向は29.9%となります。また、次期の年間配当金は1株当たり33円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の議論の深まりや同業他社のIFRS採用状況等を鑑みて、IFRSの導入を検討していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,551,875	12,777,587
受取手形及び売掛金	7,618,168	7,452,863
商品及び製品	2,631,557	2,519,433
仕掛品	1,677,885	1,948,454
原材料及び貯蔵品	2,324,112	2,478,842
その他	179,678	108,912
貸倒引当金	△157	△197
流動資産合計	26,983,120	27,285,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,014,716	11,197,501
減価償却累計額	△7,686,236	△7,878,535
建物及び構築物（純額）	3,328,480	3,318,966
機械装置及び運搬具	14,276,352	14,135,727
減価償却累計額	△12,457,336	△12,477,145
機械装置及び運搬具（純額）	1,819,015	1,658,581
土地	3,872,535	3,857,692
建設仮勘定	416,281	965,225
その他	2,910,337	3,042,906
減価償却累計額	△2,480,754	△2,553,686
その他（純額）	429,582	489,219
有形固定資産合計	9,865,896	10,289,686
無形固定資産	307,033	323,340
投資その他の資産		
投資有価証券	10,841,717	9,390,532
その他	216,866	272,013
投資その他の資産合計	11,058,583	9,662,546
固定資産合計	21,231,513	20,275,572
資産合計	48,214,633	47,561,468

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,127,526	3,600,830
未払金	683,667	748,456
未払法人税等	686,175	376,124
賞与引当金	625,639	673,706
役員賞与引当金	75,657	87,562
設備関係未払金	971,495	943,211
その他	527,779	638,714
流動負債合計	7,697,942	7,068,606
固定負債		
繰延税金負債	2,224,059	1,621,214
環境対策引当金	96,871	92,475
退職給付に係る負債	243,388	227,758
長期未払金	24,984	24,984
長期預り保証金	92,281	90,761
資産除去債務	26,230	26,230
その他	13,305	10,144
固定負債合計	2,721,120	2,093,568
負債合計	10,419,062	9,162,175
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,933,221	5,933,221
資本剰余金	6,803,377	6,803,377
利益剰余金	19,598,194	21,413,272
自己株式	△1,024,461	△1,024,805
株主資本合計	31,310,333	33,125,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,464,784	4,479,237
繰延ヘッジ損益	△186	△993
為替換算調整勘定	359,052	202,925
退職給付に係る調整累計額	△39,983	△56,819
その他の包括利益累計額合計	5,783,666	4,624,350
非支配株主持分	701,571	649,877
純資産合計	37,795,570	38,399,293
負債純資産合計	48,214,633	47,561,468

(2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	28,084,593	29,047,337
売上原価	20,266,703	20,462,910
売上総利益	7,817,889	8,584,427
販売費及び一般管理費	4,618,791	4,943,214
営業利益	3,199,098	3,641,212
営業外収益		
受取利息	23,268	23,222
受取配当金	204,567	221,938
為替差益	34,314	1,998
雑収入	54,502	36,382
営業外収益合計	316,652	283,542
営業外費用		
支払利息	4,008	2,172
雑損失	8,304	2,358
営業外費用合計	12,313	4,531
経常利益	3,503,438	3,920,223
特別利益		
固定資産売却益	304	206
投資有価証券売却益	49,278	—
特別利益合計	49,582	206
特別損失		
固定資産除却損	7,163	109,861
減損損失	92,858	—
特別損失合計	100,022	109,861
税金等調整前当期純利益	3,452,998	3,810,568
法人税、住民税及び事業税	1,115,936	1,283,341
法人税等調整額	△32,752	△184,391
法人税等合計	1,083,183	1,098,950
当期純利益	2,369,815	2,711,618
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	2,303,099	2,621,136
非支配株主に帰属する当期純利益	66,715	90,482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△178,980	△985,546
繰延ヘッジ損益	5,036	△899
為替換算調整勘定	△89,833	△200,353
退職給付に係る調整額	△11,738	△16,835
その他の包括利益合計	△275,516	△1,203,634
包括利益	2,094,298	1,507,984
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,046,297	1,461,820
非支配株主に係る包括利益	48,001	46,163

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,933,221	6,803,377	17,979,015	△1,024,049	29,691,565
当期変動額					
剰余金の配当			△676,805		△676,805
親会社株主に帰属する当期純利益			2,303,099		2,303,099
自己株式の取得				△411	△411
従業員奨励福利基金拠出			△7,114		△7,114
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,619,178	△411	1,618,767
当期末残高	5,933,221	6,803,377	19,598,194	△1,024,461	31,310,333

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,643,764	△4,737	429,685	△28,245	6,040,468	717,746	36,449,780
当期変動額							
剰余金の配当							△676,805
親会社株主に帰属する当期純利益							2,303,099
自己株式の取得							△411
従業員奨励福利基金拠出							△7,114
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△178,980	4,550	△70,633	△11,738	△256,801	△16,175	△272,977
当期変動額合計	△178,980	4,550	△70,633	△11,738	△256,801	△16,175	1,345,790
当期末残高	5,464,784	△186	359,052	△39,983	5,783,666	701,571	37,795,570

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,933,221	6,803,377	19,598,194	△1,024,461	31,310,333
当期変動額					
剰余金の配当			△795,533		△795,533
親会社株主に帰属する当期純利益			2,621,136		2,621,136
自己株式の取得				△344	△344
従業員奨励福利基金拠出			△10,525		△10,525
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,815,077	△344	1,814,732
当期末残高	5,933,221	6,803,377	21,413,272	△1,024,805	33,125,066

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,464,784	△186	359,052	△39,983	5,783,666	701,571	37,795,570
当期変動額							
剰余金の配当							△795,533
親会社株主に帰属する当期純利益							2,621,136
自己株式の取得							△344
従業員奨励福利基金拠出							△10,525
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△985,546	△806	△156,127	△16,835	△1,159,316	△51,693	△1,211,010
当期変動額合計	△985,546	△806	△156,127	△16,835	△1,159,316	△51,693	603,722
当期末残高	4,479,237	△993	202,925	△56,819	4,624,350	649,877	38,399,293

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,452,998	3,810,568
減価償却費	1,107,374	1,205,611
減損損失	92,858	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	39
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△41,962	△15,630
受取利息及び受取配当金	△227,835	△245,161
支払利息	4,008	2,172
為替差損益(△は益)	△1,815	2,912
投資有価証券売却損益(△は益)	△49,278	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	6,859	109,611
無形固定資産除売却損益(△は益)	—	43
売上債権の増減額(△は増加)	234,333	145,806
たな卸資産の増減額(△は増加)	△736,840	△348,978
預り保証金の増減額(△は減少)	851	△1,520
仕入債務の増減額(△は減少)	313,085	△527,982
その他	69,476	262,747
小計	4,224,118	4,400,241
利息及び配当金の受取額	227,841	245,161
利息の支払額	△4,008	△2,172
法人税等の支払額	△1,013,030	△1,581,469
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,434,921	3,061,761
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△16,198
定期預金の払戻による収入	16,430	22,890
有形固定資産の取得による支出	△723,129	△1,851,220
有形固定資産の売却による収入	881	315
無形固定資産の取得による支出	△14,803	△2,844
投資有価証券の取得による支出	△1,123	△1,232
投資有価証券の売却による収入	123,446	—
投資有価証券の償還による収入	—	31,204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△598,298	△1,817,085
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△676,805	△795,533
非支配株主への配当金の支払額	△61,970	△94,593
自己株式の取得による支出	△411	△344
その他	△2,742	△4,120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△741,930	△894,592
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,573	△41,681
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,082,119	308,401
現金及び現金同等物の期首残高	9,329,866	11,411,985
現金及び現金同等物の期末残高	11,411,985	11,720,387

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、当社及び子会社の構成単位に分離された財務諸表に基づき、製品・サービス別に構成した事業単位について、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。当社は、「工業用製品事業」、「家庭用製品事業」を報告セグメントとしております。

「工業用製品事業」は、化粧品原料、医薬中間体、樹脂添加剤、皮革油剤、植物性油脂、合成樹脂製品などの製造販売及び仕入販売を行っております。「家庭用製品事業」は、業務用洗剤、薬用石けん液、除菌・殺菌剤、防虫剤などの製造販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	工業用製品 事業	家庭用製品 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,323,323	6,685,999	27,009,322	1,075,270	28,084,593	—	28,084,593
セグメント間の内部売上高又は振替高	158,857	63,221	222,078	32,779	254,858	△254,858	—
計	20,482,180	6,749,220	27,231,401	1,108,050	28,339,451	△254,858	28,084,593
セグメント利益	2,400,807	539,751	2,940,559	258,538	3,199,098	—	3,199,098
セグメント資産	20,900,697	3,433,336	24,334,033	2,881,817	27,215,851	20,998,781	48,214,633
その他の項目							
減価償却費	908,628	86,936	995,564	106,891	1,102,456	4,918	1,107,374
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,223,201	113,020	1,336,222	66,458	1,402,680	1,956	1,404,636

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び薬理・安全性試験の受託を行う事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額は、セグメント間消去△92,582千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産の金額21,091,364千円であります。全社資産の主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(2) その他の項目の減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

3. セグメント利益は、連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	工業用製品 事業	家庭用製品 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,573,439	7,337,347	27,910,786	1,136,550	29,047,337	—	29,047,337
セグメント間の内部売上高又は振替高	167,463	40,277	207,741	30,349	238,090	△238,090	—
計	20,740,902	7,377,625	28,118,527	1,166,899	29,285,427	△238,090	29,047,337
セグメント利益	2,747,529	619,617	3,367,147	274,065	3,641,212	—	3,641,212
セグメント資産	20,869,834	3,672,943	24,542,777	2,994,349	27,537,127	20,024,341	47,561,468
その他の項目							
減価償却費	993,752	95,163	1,088,916	112,592	1,201,508	4,103	1,205,611
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,570,916	60,565	1,631,482	94,523	1,726,006	10,992	1,736,999

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び薬理・安全性試験の受託を行う事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額は、セグメント間消去△64,430千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産の金額20,088,772千円であります。全社資産の主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(2) その他の項目の減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

3. セグメント利益は、連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	工業用製品事業	家庭用製品事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	92,858	—	—	—	92,858

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,562.03円	1,589.64円
1株当たり当期純利益金額	96.98円	110.37円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,303,099	2,621,136
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,303,099	2,621,136
普通株式の期中平均株式数(株)	23,747,476	23,747,195

(重要な後発事象)

該当事項はありません。